

お年玉から始める ～家庭で行う金銭教育のススメ～

ゆめ
つくる

新年を迎えましたが、新年といえば、「お年玉」を連想する方も多いのではないのでしょうか。そんなお年玉を例に、「金銭教育」についてご紹介します。

●「お年玉」とは

皆さんは、「お年玉の語源」をご存知でしょうか。諸説ありますが、正月に歳神を迎えるために供えられた、丸い鏡餅（＝歳神の霊魂が宿った依り代）が、家長によって子どもに分け与えられ、その餅が「御歳魂（おとしだま）」と呼ばれたことからと言われています。

現代では、子どもに金銭を与える習慣となっていますが、こうした機会は子ども達にとっては貴重なものであり、「金銭教育」をする良い場面であると言われています。

●「金銭教育」とは

「金銭教育」とは、モノやお金を大切にすることを通じて、お金や労働の価値を知り、感謝と自立の心を育てることによって、人間形成の土台作りを目指す教育と言われています。

また、「金銭教育」は対象の年齢層に応じた教育が重要だと言われています。では、どのようなことが重要なのでしょうか。

●「金銭リテラシーマップ」とは

年齢層に応じた習得すべき事柄について簡略的にまとめたものを、「金銭リテラシーマップ」と言います。一部抜粋したものが、下の表になります。

このように、年齢層に応じた教育を目標とすることで、より効果的な学びの成果が得られると言われています。



表：年齢層に応じた目標にすべき事柄

| | | |
|-----|-----|--|
| 小学生 | 低学年 | ものには価値があることを知り、ものを大切に使う習慣を身に付ける |
| | 中学年 | ものやお金には限りがあること、お金の大切さを理解する |
| | 高学年 | ものやお金には限りがあることを理解し、よりよい使い方を考える |
| 中学生 | | 財やサービスの有限性、希少性を理解し、よりよい選択をしようとする |
| 高校生 | | 資源の有限性、希少性を理解し、財やサービスを購入する際、よりよい選択ができる |

●まとめ

今回は、お年玉を例に「金銭教育」についてご紹介しました。金銭教育は、経済の仕組みについて考える金融教育や労働について考えるきっかけになるため、キャリア教育の一環にもなります。こうした家庭教育を通して、子ども達の社会への興味関心が高まります。

コロナ禍で何かと自宅で過ごす時間が増えると思いますが、これを機に家庭で「金銭教育」を試みるのは、いかがでしょうか。

★学校運営協議会からのお知らせ

学校運営協議会では、子ども達の学びや成長を地域全体で支えていくため、「あいさつ運動」を行っていくこととしております。大人が子ども達へ積極的にあいさつすることで手本を示し、子ども達が「あいさつができる子」となるよう地域全体で育てていきましょう。



■お問合せ 沼田町教育委員会 ☎ 35-2132

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>

